

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び  
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成  
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築  
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成  
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

1 実践テーマ	【 I V 】
2 実施対象者	春日市立春日東中学校 1年生女子 94名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 保健体育科 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	○バレーボールを通して、オリンピック、パラリンピックの興味・関心を高める ○バレーボールの技能を高め、ネット型に共通する動きを身に付ける ○ボール操作における運動技能を高める
5 取組内容	<p>○全12時間の時間を設けて授業を実施した。</p> <p>1時間目 オリエンテーション                  ・パワーポイントを使って、オリンピック・パラリンピックの歴史や目的、意義について学ばせた。                  また、オリンピックの映像を使って、バレーボールについての説明を行った。</p>  <p>2時間目 バレーボールの行い方、準備について                  ・バレーネットを安全に設置するための準備方法を説明し、安全に行えるように指導した。</p> <p>3・4・5時間目 基本的技能の習得                  ・実際に中学生用の4号球を使って、アンダーハンドパス、オーバーハンドパス、サーブの練習を行った。円陣パスやサーブゲームを通して技能習得を図った。</p> 

	<p>6・7・8時間目 条件付きゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・返球回数、人数、ワンバウンド有り、などの条件を設定し、返球までの判断時間を意図的に作り、ゲームを簡易化した。また、審判や進行係などの役割を設定して、ゲームを生徒に進めさせた。</li> </ul>
6 主な成果	<p>○オリンピック、パラリンピックについての興味・関心を高めることができた。</p> <p>○アンダーハンドパス、オーバーハンドパス、サーブなどのバレーボールの基本的技能を身に付けることができた。</p> <p>○ネット型に共通する、空いたスペースを攻めたり、守ったりすることや、定位置に戻るなどの動きの必要性に気づくことができた。</p>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入にオリンピックの試合の映像を見せることで、興味・関心をたかめることができた。</li> <li>・試合形式で授業を進めるために、ゲームを簡易化した。</li> </ul>
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生で実施すると試合を成立させるのが難しいため、1年生でバレーボールを履修しておいて、2, 3年生で実施したほうが、よりゲームが成立すると思われる。</li> <li>・ボールをソフトバレーボールにしたり、コートの広さの条件を変えるなどして、もっと簡易化させて、ラリーの楽しさを味合わせる必要があった。</li> <li>・導入だけでなく、クラスマッチ形式にして、オリンピック要素を取り入れることができればよかった。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックの要素を取り入れる機会が少なかった。</li> </ul>
9来年度以降 の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施する場合、学校行事として、クラスマッチなどで実施したい。</li> </ul>